

築こうみんなのゼロ災職場

神奈川労働局

局長 木塚 欽也



建設業労働災害防止協会神奈川支部

支部長 黒田 憲一



2023年度 神奈川安全企画

労働災害防止に向け、職場での安全意識高揚と安全活動の定着を図る「2023年度全国安全週間」が7月1日から7日まで実施される。96回を迎える本年度のスローガンは「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」。昨年度の神奈川県内における建設業の労働災害発生状況は702人と過去最少となったが、墜落・転落災害などによる死亡労働災害も起きている。また、崩壊・倒壊、感電、過重労働、おぼれ、飛来による労働災害も発生した。その中には安全衛生管理の基本がおろそかになっていたと認められるものもあり、本年度も安全週間を契機に、神奈川県内の建設業でも安全な職場環境の形成を目指し、災害ゼロに向けた積極的な取り組みが期待される。

連携、協力し労働災害防止対策

日頃から労働基準行政の運営につきまして、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の県内の建設業の労働災害の発生状況については、「新型コロナウイルス感染症」を除いた死傷労働災害は702人と、一昨年から776人から74人減少し、過去最少となりました。一方、憂慮すべきことに、本年の建設業における死亡災害は、本日現在、すでに6人となり、急増しております。これらの災害は、いずれも作業の安全を確保するために守るべき基本事項が守られていなかったことから発生しているものです。

こうした状況の中、本年度の全国安全週間が、「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」をスローガンに6月を準備期間、7月1日から7月7日までを本週間として実施されます。当週間を皆様方の安全意識高揚の機会として、労働災害防止の取組を推進されるよう重ねてお願いいたします。

また、本年度は、当行政において新たに策定した第14次労働災害防止計画(神奈川計画)の初年度にあたります。この計画においては、県内の全産業における年間の死亡労働災害を20人以下(建設業は7人)とすること等を目標として、各種の取組を展開していくこととしています。この新しい計画の下、皆様方と緊密に連携、協力しつつ、労働災害防止対策に一元となり取り組んでいければと考えておりますので、何卒、よろしく願いたします。

かながわ安全強靱化計画を策定

近年、建設業を取り巻く環境は、働き方改革の推進、建設従事者の高齢化の進展、担い手の確保・育成など、様々な課題が山積する状況にあります。

そのような情勢の中で、関係各位の弛まぬご尽力により、建設業における労働災害は長期的には減少傾向にあり、昨年の建設業における県内の労働災害による死者数は9人と前年より12人減少、一桁を達成することができました。

さらに死傷者数は、新型コロナウイルス感染症によるものを除く数字ではありませんが、702人となり、これは神奈川県における建設業での死傷者数としては過去最小数を更新したものです。

建災防本部において、国の第14次労働災害防止計画の動向を踏まえて、令和5年度から令和9年度を期間とする第9次建設業労働災害防止5か年計画(第9次計画)が策定されましたが、当神奈川支部では、建設業で働く仲間がこれ以上悲惨な労働災害に遭うことがないように、第9次計画に併せて、墜落、転落災害の撲滅を図り、さらにこれまで神奈川支部独自で取り組んできた「セーフティボン運動」「3分KY運動」「安全行動宣言運動」の3つの運動をさらに進化させ展開していくことを骨子とした「かながわ安全強靱化計画」を策定し、新たな災害防止計画期間で進めて行くこととしました。

本年の全国安全週間スローガンは「高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場」ですが、3つの運動は管理者、監督者のみならず、作業者みんなの意識を高め、不安全行動をなくし、ゼロ災職場を達成することを狙ったものです。

建設業で働くすべての者が安全で安心に働くことができますように一層のご理解、御協力をお願いします。

第96回全国安全週間

2023年7月1～7日

主唱者

厚生労働省
中央労働災害防止協会

協賛者

建設業労働災害防止協会
陸上貨物運送事業労働災害防止協会
港湾貨物運送事業労働災害防止協会
林業・木材製造業労働災害防止協会

安全文化を確立し 災害ゼロへ

清水建設株式会社
執行役員横浜支店長

大橋 成基



「危険を予知してダブルの対策 あわてずあせらず安全作業」の安全スローガンのもと、人命・人間尊重の理念にたち、働く人の生命と健康を守ることを最優先とする「安全文化」を定着するとともに、円滑なコミュニケーションを通して多様化している社会環境に柔軟に対応できる安全で快適な労働環境を形成してまいります。

鹿島建設株式会社
副社長執行役員横浜支店長

野村 高男



「決心せよ！今日一日の無災害」「ひとつひとつ 心をこめた物づくり」「働く人は皆家族 家族の命は必ず守る」という3つのスローガンのもと、一人ひとりが当事者意識をもって災害防止活動に取り組み、ボトムアップ型の安全管理を実践。ICTツールを活用し効率的で作業しやすい安全管理を行うとともに、ハッと安全の重要性に気付く情報を共有し、一人ひとりの危険感受性の向上を促すことで災害のない職場づくりを目指します。

株式会社大林組
執行役員支店長

今川 卓志



「安全は 働くみんなが 責任者 心をあわせ 無災害」を今年度の安全スローガンとし、一人ひとりが高い安全意識と責任感を持って行動することで、働く人の安全と健康を確保し、一丸となって災害の撲滅に取り組んでまいります。

株式会社フジタ
上席執行役員横浜支店長

古賀 雅嗣



今年度は原点復帰である「安全第一」をスローガンとし、職場の隅々まで安全最優先と法令順守の意識を徹底してまいります。フロントローディングで安全管理をリードし、全員で安全管理密度を高め、安全・安心を最優先に考える労働環境づくりと働き方改革への積極的な取り組みで、魅力ある職場を目指します。

戸田建設株式会社
横浜支店長

縄田 浩



「安全は中心となる価値である、工事の特性を考慮した計画方法で“危険ゼロ”の事業場を目指す」のスローガンのもと、安全で働きがいのある職場環境の形成に努め、自己発動的な安全管理の重要性を認識し、事業主と共に労働災害防止活動を展開してまいります。

株式会社竹中工務店 横浜支店
支店長

小野 哲郎



「作業所と協力会社が一日の現場業務で当たり前に確認し実践すること」の確実な実践を展開しております。一人ひとりがプロフェッショナルとしての自負を持ち、安全・安心の確保のためにやるべきことを確実に実施して参ります。

大成建設株式会社 横浜支店
常務執行役員支店長

江島 明



安全教育の実施によって安全に対する意識を高め、安全行動に繋げて災害ゼロを目指します。そして現場で働くすべての人たちが安心して健康に働くことができる職場を築いてまいります。

株式会社松尾工務店
代表取締役社長

松本 文明



「さわやかで凛とした現場の堅持」が当社の安全目標です。「さわやか挨拶」は当社、年来のテーマで、その「さわやか」と共におもわず襟を正したくなるような引き締まった緊張感のある「凜」とした現場作りを行っています。

馬淵建設株式会社
代表取締役社長

馬淵 圭雄



当社は労働者の高齢化、若年労働者の確保育成に対応し、「その場で改善」による安全衛生管理を実践し、将来を見据えた持続可能な取り組みを強化してまいります。

東亜建設工業株式会社
執行役員常務横浜支店長

馬越 成之



当社は『安全をすべてに優先させる』を基本方針として、『初心に戻って再点検 本気で守ろう基本ルール』のスローガンのもと、『声かけ合い運動』、『3・3・3運動』、『指差し呼称』の3つの運動を重点実施項目と定め積極的に実践し、事故・災害の防止を図って参ります。

三井住友建設株式会社
横浜支店 支店長

吉田 洋一



当社は、『ゼロ災に基づくものづくり』を理念とし、働く人のかけがえのない命と健康を守るため、「リスクの先取り危険予知、作業手順 決めて守って」「ゼロ災害!!!」を合言葉に安全活動を展開しています。

 社一 団法人 般 横浜市電設協会 理事長 菊地 一憲 会 員 同 幸 横 濱 市 中 区 山 下 町 一 九 五 電 話 〇 四 五 二 〇 八 四 四 一 五	 社一 団法人 般 川崎建設業協会 会 長 山 根 崇 川 崎 市 川 崎 区 宮 本 町 七 一 五 電 話 〇 四 四 二 〇 四 四 一 五 六 代 表	 社一 団法人 般 横浜建設業協会 会 長 山 谷 一 朋 彦 横 濱 市 中 区 太 田 町 二 一 二 二 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 九 五 二 二 代 表	 社一 団法人 般 神奈川県空調衛生工業会 会 長 有 井 清 横 濱 市 中 区 海 岸 通 四 一 一 八 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 九 五 三 三 六 八	社一 団法人 般 神奈川県電業協会 会 長 山 口 一 同 宏 横 濱 市 中 区 海 岸 通 四 一 一 八 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 九 五 三 三 六 八	社一 団法人 般 神奈川県建設業協会 支 部 長 横 濱 支 部 会 長 会 渡 員 邊 一 一 同 郎 横 濱 市 中 区 太 田 町 二 一 二 二 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 八 四 五 二 二 代 表	社一 団法人 般 神奈川県建設業協会 会 長 松 尾 文 明 横 濱 市 中 区 太 田 町 二 一 二 二 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 八 四 五 二 二 代 表	 建設業労働災害防止協会 支 部 長 黒 田 憲 一 横 濱 市 中 区 太 田 町 二 一 二 二 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 八 四 五 二 六	
 社一 団法人 般 戸田建設株式会社 支 店 長 縄 田 浩	 社一 団法人 般 竹中工務店 支 店 長 小 野 哲 郎	 社一 団法人 般 大成建設株式会社 常 務 執 行 役 員 支 店 長 江 島 明	 社一 団法人 般 清水建設株式会社 執 行 役 員 支 店 長 大 橋 成 基	 社一 団法人 般 鹿島建設株式会社 副 社 長 執 行 役 員 支 店 長 野 村 高 男	 社一 団法人 般 株式会社 大林組 執 行 役 員 支 店 長 今 川 卓 志	 社一 団法人 般 神奈川県マシナリー製造協同組合 理 事 長 岡 村 清 孝 横 濱 市 中 区 不 老 町 一 一 二 一 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 八 四 四 〇 一 一 九 〇 二	 社一 団法人 般 神奈川県建物解体業協会 会 長 鈴 木 和 道 横 濱 市 中 区 太 田 町 三 一 三 六 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 八 四 四 〇 〇 一 五 〇 一	 社一 団法人 般 横浜市造園協会 会 長 田 澤 重 幸 横 濱 市 中 区 相 生 町 六 一 〇 七 四 電 話 〇 四 五 二 〇 〇 八 四 八 一 〇 七 七

高める意識と安全行動

一般社団法人 神奈川県空調衛生工業会

会長 有井 清



令和4年の県内建設業の労働災害における死亡数は前年の21人から9人へと大幅に減少し、業界各社の取り組みが成果に繋がった一方、入場一週間以内の作業員や高齢の作業員の死亡災害が増え、こういった方々への特段の注意が必要となっています。

当工業会では5月の定時総会で安全スローガン「気を抜くな 慣れた作業が事故を呼ぶ ムダなくムリなく安全作業」を決議しました。これから本番を迎える熱中症の予防に努めると共に、会員一同「ゼロ災職場」の実現を目指して参ります。

一般社団法人 神奈川県電業協会

会長 山口 宏



今年の全国安全週間のスローガンは、「高める意識と安全行動 築こう みんなのゼロ災職場」となっています。残念ながら、昨年も神奈川の建設業界において、死亡事故が発生し仲間を失うことになりました。死亡事故ゼロは、無理なのかと思いましたが、2022年の神奈川の建設業では労災死亡がゼロとの話を聞きました。規模は異なりますが、ゼロにすることは可能なことです。今一度日常業務を点検し、会員一同、労働災害の根絶のため尽力していきたいと思っております。

一般社団法人 神奈川県建設業協会

会長 松尾 文明



コロナ明け、経済の回復とともに人手不足が深刻になる中、工事現場を支える職人さんの負担も大きく、小さな事故が頻発しています。これから現場環境の厳しい夏に向かいます。水分をこまめに摂ったり、適宜の休憩をすることで、一つひとつの作業が散漫になることを防ぎ、ケアレスミスを撲滅し、未然に重大災害を防いで行きましょう。

一般社団法人 神奈川県建物解体業協会

会長 鈴木 和道



一人一人が安全意識を高めながら安全衛生活動の充実を図り、究極の目標でもあります「災害ゼロ」に向けて取り組んでいただきたい。

そして、地域社会の安全・安心を確保する地域の守り手として重要な役割を果たし、「地域に頼られる協会」「責任ある協会」として地域の発展に尽力して参りたいと考えていきます。

一般社団法人 川崎建設業協会

会長 山根 崇



昨今の担い手不足により、建設業では高年齢化、外国人の労働者が増加しています。転倒事故や意思疎通が不十分なために発生する事故も多く、より丁寧な安全行動、そしてコミュニケーションが不可欠です。

また、本年も酷暑が想定されており、熱中症対策もしっかりと行っていく必要があります。現在のコスト増により企業利益の確保が難しい状況ですが、労働者の安全を最優先に考え、安心して働ける環境を構築していかなくてはなりません。

一般社団法人 横浜建設業協会

会長 山谷 朋彦



当協会の会員は、一人一人が、人命を最優先に考え「安全第一」で作業ができるよう事故防止に積極的に取り組んでいます。

事故の多い高所作業では、義務化されたフルハーネスの安全帯を着用し、作業員の安全の確保をいたします。また、夏場を迎えるにあたり、新型コロナウイルス感染症により多くの死亡者をだした熱中症の予防には、十分注意をしなければなりません。作業中は、不注意からの事故を未然に防ぎ、労働災害ゼロを目指し不断の努力をまいります。

工藤建設株式会社 代表取締役

工藤 英司



「無事故・無災害は安全点検から」のスローガンのもと、「安全衛生方針」に掲げている墜落・転落災害防止活動の再徹底、安全衛生パトロールの強化充実、安全衛生教育に関する指導・訓練を徹底的に実践してまいります。

株式会社小俣組 代表取締役

小俣 順一



当社は、昨年100周年を迎えました。一つの区切りとして、『100周年 みんなで100点 0災害』のスローガンのもと、今後も安全管理組織の充実、職場環境の向上を目指してまいります。

株式会社紅梅組 代表取締役

佐々木 利文



緻密な計画をたて正しい手順を守ることで危険・有害要因を的確に捉えて安全先行管理を実践します。当社と協力業者とが丸となり、安全衛生管理体制の充実に努め、労働安全マネジメントシステムを活用した墜落・転落災害、車両系建設機械災害の防止活動を推進いたします。

株式会社三木組 代表取締役

三木 康郎



「ルールを守り安全作業 みんなで取り組むゼロ災害」をスローガンとして、作業所と協力業者の一人ひとりが安全の重要性を再認識し、安全で働きやすい職場環境をつくるために、安全衛生の基本事項を周知してゼロ災害を目指してまいります。

株式会社浦山工務店 代表取締役

浦山 裕功



日々作業で慣れなどによる上辺の中身に漏れがある安全活動になっていないか。今一度「安全活動の基本」「コミュニケーション取り方の基本」をみんなで考え実行し、「人命尊重を第一に災害発生0」に努力してまいります。

土志田建設株式会社 代表取締役社長

土志田 領司



安全最優先の考え方を基本に、「絶対安全」のスローガンのもと、安全管理のさらなる徹底を図り、協会の皆さまと安全意識を深く共有し、一人ひとり常に安全第一を意識して作業を行うよう心がけ取り組んで参ります。

株式会社渡辺組 代表取締役

渡邊 一郎



当社は本年、「危ない！」と声かけあって防ごう事故 みんなで取り組む リスクゼロ。を安全スローガンに掲げています。自分の身を守るだけでなく、同じ職場で働く者全ての安全を常に考え、危険な場所があったら、皆で共有し改善してゆく事が、無事故無災害に繋がると考えます。併せて、これから迎える暑い夏に備え、熱中症対策にも万全を期してまいります。

大洋建設株式会社 代表取締役社長

黒田 憲一



「生涯ゼロ災」を目指し、労働災害防止運動の一環とした「3分KY運動」「セーフティリボン運動」「安全行動宣言運動」を展開いたします。また、「安全の見える化」運動の取組を推進し、その実現に向け一歩一歩着実に前進してまいりたいと考えております。

金子機械株式会社 代表取締役

金子 直樹



社内の安全意識・健康意識をより一層高く持ち、自社の厳しい安全基準を守り『事故発生ゼロ』をスローガンとします。また、お客様により安全に機械を使って頂くための安全説明を行ってまいります。

横浜エレベータ株式会社 取締役社長

勝 治雄



協会社と一体となり、労働災害の撲滅に真摯(しんし)に取り組みます。労働災害、重傷事故発生ゼロを目指して、まい進してまいります。

川本工業株式会社 代表取締役社長

川本 守彦



我々を取り巻く環境の変化に対し、常に「しんか(進化・深化・新化・心化)」を遂げ安全で快適な職場環境の実現を目指したいと思います。そうした変わりゆくなかでも「心のゆとりでミスを防ぐ」実践しよう笑顔のあいさつ」をスローガンに労働災害等の未然防止と安全意識向上に取り組んでいきます。

扶桑電機株式会社 代表取締役

鬼嶋 一司



当社では「意識が変われば現場も変わる、みんなで変えよう現場の安全」を今年のスローガンにしています。各々が現場の主役。絶対に事故を起こさないという強い思いの結集が無事故・無災害の達成に必要と考えます。



工藤建設株式会社
代表取締役 工藤 英司
横浜市青葉区新石川四三三〇〇
電話 〇四五(九一)五三〇〇



株式会社小俣組
代表取締役 小俣 順一
横浜市南区新川町五二二八
電話 〇四五(二五)三〇七〇(代表)



株式会社紅梅組
代表取締役 佐々木 利文
横浜市西区戸部本町三六六
電話 〇四五(三三)六〇六六(代表)



株式会社三木組
代表取締役 三木 康郎
横浜市神奈川区青木町七二六
電話 〇四五(四六)六〇六六(代表)



株式会社松尾工務店
社長 松本 文明
横浜市鶴見区鶴見中央四一三八一三五
電話 〇四五(五二)〇〇二二



馬淵建設株式会社
代表取締役社長 馬淵 圭雄
横浜市南区花之本町二二二二六
電話 〇四五(七二)一一二二二



東亜建設工業株式会社
横浜支店
執行役員常務支店長 馬越 成之



三井住友建設株式会社
横浜支店
支店長 吉田 洋一



株式会社フジタ
横浜支店
上席執行役員支店長 古賀 雅嗣



日建リース工業株式会社
代表取締役社長 関山 正勝
東京都千代田区神田桑原町二七七八
電話 〇三(三三)九五九一一



金子機械株式会社
建設機械レンタル
代表取締役 金子 直樹
横浜市戸塚区平戸町二〇三〇一
電話 〇四五(八二)七二〇六



横浜エレベータ株式会社
取締役社長 勝 治雄
横浜市中区松形町二八八六
電話 〇四五(六六)一五九四(代表)
http://www.yokohama-elevator.jp/



川本工業株式会社
代表取締役社長 川本 守彦
横浜市中区寿町二二二二二
電話 〇四五(六六)二二二二(代表)



扶桑電機株式会社
代表取締役 鬼嶋 一司
横浜市港北区新横浜二二二二二
電話 〇四五(七二)〇二二二(代表)



株式会社浦山工務店
代表取締役 浦山 裕功
本社 横浜市港南区日野一四九一三
電話 〇四五(八四)一一三三四
東京営業所 東京都品川区南大井三三三〇一六
電話 〇三(三三)九九八



土志田建設株式会社
代表取締役社長 土志田 領司
横浜市緑区長津田三二四三二
電話 〇四五(九八)一一一三二



株式会社渡辺組
代表取締役 渡辺 一郎
横浜市中区南仲通三三三三
電話 〇四五(二〇)三三三三(渡辺組内ビル)
http://www.watanabe-group.co.jp/



大洋建設株式会社
代表取締役社長 黒田 憲一
横浜市戸塚区戸塚町一五七
電話 〇四五(八六)〇二二五(代表)
http://www.ooyama.co.jp/